

第5期健康推進計画・食育推進計画・自殺総合対策計画中間のまとめに対する意見
(市民意見交換会)

番号	計画	施策	意見要旨	専門部会取扱い方針
1	共通		短い時間でできる栄養豊富な料理の紹介や健康づくりの催しのPRを、計画書内にも入れてほしい。	市や市の関連団体が発信している健康づくりのための情報を、外食や中食のかしこい選び方、むさしの食育フェスタについてコラムとして追記しました。また、食育を実践するための取組みである「クックパッド武蔵野市の公式キッチン」について記載しました。
2	健康		行政計画はもう少し数値化して進められるといいと思う。計画書に「健康寿命を延ばす」と書いてあるが、健康寿命とは何で、目標は何なのか、そのあたりが共有されると市民の方にもわかりやすいと思う。その辺りはよろしく願いたい。	健康寿命について、コラムとして記載しました。
3	健康		健康寿命の延伸のためのスポーツでテニスがいいと言われる。武蔵野市は地価が高く、コートを作るのは大変である。例えば、民間のテニスコートや学校のテニスコートをうまく活用するなど、何か考えていただけるといいと思う。	市民が自ら運動を継続できる環境は大切だと考えます。ご意見として承ります。
4	健康	基本施策1(2)	がんの早期発見は非常に重要である。啓蒙活動の難しさも理解できるが、早期発見の重要性を市民の皆様にもっと強くアピールできるような講座やPR方法を考えていただきたい。	計画中間のまとめに記載のとおり、がん検診の意義と早期発見の重要性について周知に取り組む予定です。
5	健康	基本施策3(1)	森本病院が休棟中、吉祥寺南病院は救急体制が縮小していく中で、一次救急、二次救急、三次救急の機能分化が難しくなっている。他市との連携など、もっと広範囲な形で医療連携体制を考えるべきだと思う。	救急体制を考えるうえで、計画中間のまとめに記載のとおり市内の一次・二次・三次救急の機能分化を推進するとともに、広域的な連携も重要な課題でありますので、市としてできることを検討していきます。

番号	計画	施策	意見要旨	専門部会取扱い方針
6	健康	基本施策3 (1)	市内で訪問診療を対応しているのは2か所のみである。今後とも後期高齢者が増加したり医療ニーズの高い高齢者が増えていく中で、在宅で過ごすことが難しくなるので、誘致や人材育成などが必要だと思う。	訪問対象エリアが広域（武蔵野市を含む）な他市の訪問診療所などもありますので、ご意見として承り、今後、医師会等と協議を図りながら検討していきます。
7	健康	基本施策3 (1)	武蔵野市は、訪問看護ステーションでの24時間緊急対応など、訪問看護が充実している。一方で、市内のドクターは住居が市外など遠方の方が多く、夜間は電話・ICT連絡のみとなる。緊急時に指示をするドクターの24時間訪問体制が薄いところが市の医療の状況である。夜間にドクターが不在でも、訪問看護師の判断で一定程度の医療行為ができるような裁量権を与えるなど、武蔵野市に限らず、国の制度の変更も考えていかないといけない。	計画中間のまとめに「医師会等と協議を図りながら夜間休日等の在宅医療（訪問診療体制）の充実等を検討する」と記載のとおり、様々な取組みを検討していきます。
8	健康	基本施策4 (2)	「東京かあさん」という、子育て世帯のところに、都内在住で登録している方がサブスクで訪問する事業がある。高齢者にとってはこれがやりがい、介護予防に繋がり、周囲に頼れる人がいない子育て家庭にとってはそれがサポートになるという事業スキームが増えている。保健センターの増改築がなされたら子育て相談機能と母子保健事業が一体化するので、そういった武蔵野らしい新たなスキームができれば、保健師・助産師さんだけでなく裾野を広げた相談支援体制ができていくと思う。	武蔵野市では子育てに関するサービスとして既に、産前産後支援ヘルパー、ファミサポ、ひまわりママなどがあります。産前産後支援ヘルパーではシルバー人材センターも委託先となっており高齢者も活躍頂いています。
9	自対	基本施策2	コロナ以来、自殺者数が増えているとニュースでよく耳にするが、“「気づき」を促す研修の拡大と専門的人材の育成”のための対策はされているのか。	計画中間のまとめに記載のとおり、「ゲートキーパー研修」「庁内専門職向けスキルアップ研修」「市民向け人材育成研修」などに取り組んでいますので、今後も推進していきたいです。